



令和5年7月12日  
統合幕僚監部

日米韓参謀総長級会議について

2023年7月11日（現地時間）、吉田統合幕僚長、ミリー米統合参謀本部議長及びキム韓国合同参謀本部議長は、北朝鮮がICBM級の弾道ミサイルを発射する等、我が国を取り巻く安全保障環境がより一層厳しさを増す中、ハワイで日米韓参謀総長級会議を行いました。概要は以下のとおりです。

吉田統合幕僚長は、ハワイのキャンプ・スミスで、マーク・A・ミリー米統合参謀本部議長、キム・スングヨム韓国合同参謀本部議長との3者会議に参加しました。

会議には、ジョン・C・アクイリーノ米インド太平洋軍司令官、ポール・J・ラメラ国連軍／米韓連合軍／在韓米軍司令官、リッキー・N・ラップ在日米軍／米第5空軍司令官も同席しました。

会議においては、北朝鮮による地域を不安定化させる活動や、地域の平和と安定の維持に向けた日米韓3カ国の協力強化の機会など、地域の安全保障上の課題について議論が行われました。ミリー米統合参謀本部議長は、日本と韓国を防衛するという米国による強固なコミットメントを再確認しました。

会議が行われている中、北朝鮮は全会一致で承認された国連安全保障理事会決議に違反するICBM級の弾道ミサイルを発射しました。3者は状況を注視しながら、朝鮮半島と地域の安全保障を強化するため、2国間及び3国間により採り得る方策について、リアルタイムで議論しました。

3者は、北朝鮮による明白な脅威に対する3国間のコミットメントの重要性を強調させる、北朝鮮の挑発的な行動を非難しました。

日米同盟及び米韓同盟は、地域の平和と安定を維持し、自由で開かれたインド太平洋を実現するために必要不可欠です。